PAULISTA

壇上から撮影した様子

□マレット・ゴルフでスマレー日伯協会から仲良く受賞した西本ミツオさん（６８、二世）とルシアノ・マサオ・斉藤さん（６８、二世）も、「受賞するなんて全てが驚き」と満面の笑みを浮かべる。西本さんは国士舘スポーツセンターでマレット・ゴルフを初経験。足が悪い自分でも出来ると競技を始めた。同協会のゴルフ場設立に貢献し、２０１０年に完成。

□その頃マレット・ゴルフを知った斉藤さんは創設したばかりのゴルフ場で競技を始め、同年に初めて参加した国士舘スポーツセンターで優勝した。脊椎や足の手術で競技を中断することもあったが、２人とも現役選手として各地の試合に参加している。贈呈式では、２人揃って記念プレートを授与された。

□来賓として、野村アウレリオ市議、楠彰在聖首席領事、下本八郎元州議、各日系団体の代表者らが出席し登壇した。

□野村市議は「日本人移民は心身を鍛えるスポーツを推進し、子孫らに受け継ぎブラジル社会に貢献してきた」とその功績を讃え、受賞者らに向けて「引き続きこの国のスポーツ界のために活躍し、未来への希望を与えてほしい」と訴えた。

□式典後は、受賞者や家族が晩餐会に参加し、栄えある受賞の喜びに浸った。

□関連コラム□大耳小耳

受賞した柳森優（まさる）さん（右）と妻の五月さん

□パウリスタ・スポーツ賞で最高齢受賞者は、柳森優（まさる）さん（９８、熊本県）だった。もう一人特別賞を受賞した松堂忠堅さん（８４、沖縄県）も、最高齢の現役柔道講師として受賞した。スザノ市のウルペス日本人会で非日系人を中心に教え続ける松堂さんは、「１３０歳まで生きる」と豪語する。その時まで柔道講師を務めれば、次はギネスも狙えそう！？